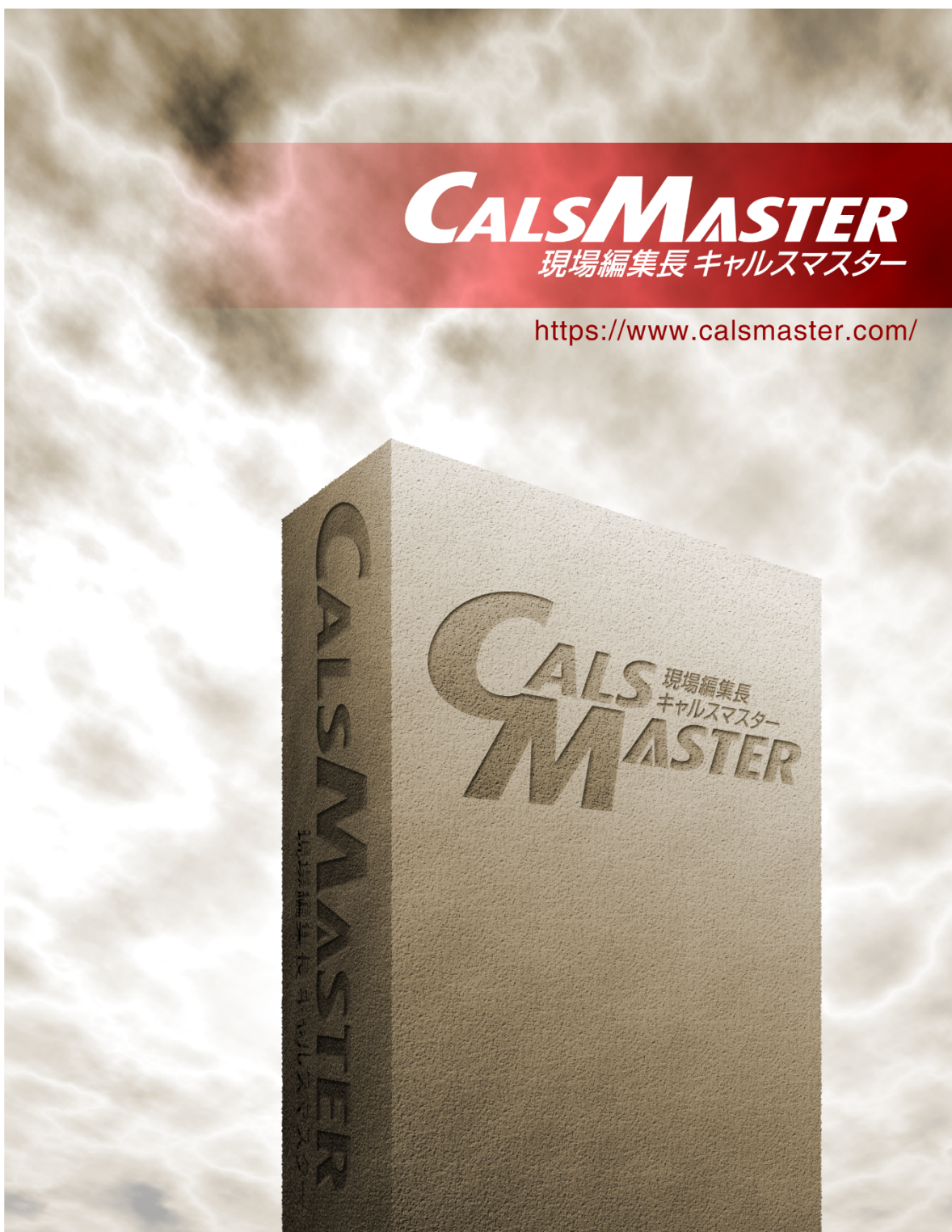


CALSMaster
現場編集長 キャルスマスター

<https://www.calsmaster.com/>



現場編集長CALSMaster

インストールマニュアル

はじめに

この度は、現場編集長 CALSMaster（以下、「CALSMaster」）をご購入いただき、誠にありがとうございます。
本マニュアルには、本ソフトウェアのインストール及び、バージョンアップの注意事項を記載しています。
お使いになる前にご一読くださいますよう、お願い申し上げます。
ご不明な点については、販売代理店までお問い合わせください。

著作権・商標

© 2006 DATT JAPAN Inc.

ダットジャパン株式会社 <https://www.calsmaster.com/>

このソフトウェアの著作権は、ダットジャパン株式会社にあります。

※このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用・複製することは、禁止されています。

※このソフトウェアの仕様およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

目次

1. 動作環境	1
1-1. パソコン環境.....	1
1-2. ユーザーアカウント制御に関する警告について.....	2
2. 新規インストールについて	3
2-1. 新規インストール方法	3
2-2. 現場編集長 CALSMaster の InstallShield Wizard へようこそ	4
2-3. 使用許諾契約.....	4
2-4. ユーザー情報画面	5
2-5. セットアップタイプの選択.....	5
2-6. プログラムフォルダーの選択（カスタムを選択した場合）	6
2-7. 機能の選択（カスタムを選択した場合）	6
2-8. ファイルコピーの開始	7
2-9. インストールの実行	7
2-10. インストールの完了	8
3. アンインストール方法	9
3-1. コントロールパネル	9
3-2. アプリと機能.....	9
3-3. セットアップステータス	10
3-4. アンインストール完了	10
4. USB キーのバージョンアップ方法.....	11
4-1. CALSMaster USB キー設定ユーティリティ	12
4-2. バージョンアップ確認	12
4-3. USB キーの確認.....	13
5. データコンバート	14
5-1. 初回起動時のコンバート準備.....	14
5-2. コンバートツールの起動	15
5-3. コンバートの設定項目について.....	15
5-4. コンバート画面	16

1. 動作環境

ここではパソコンの動作環境と使用するウェブブラウザ、および周辺機器についてご説明いたします。

1-1. パソコン環境

快適にご利用頂くため、下記の性能を満たしたパソコンを推奨いたします。

項目	内容
OS	Windows 10 / 11 (32/64 ビット)
CPU	1GHz 以上のプロセッサ (ARM プロセッサ非対応)
メモリ	4GB 以上推奨
ハードディスク	700MB 以上 (データ保存領域は別途必要です)
ディスプレイ	解像度 1,280×800 以上
ネットワーク	データのネットワーク共有時には 1Gbps 以上の有線 LAN を推奨

【その他】

Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

その他、各 OS のシステム要件に準じます。

【ご注意】

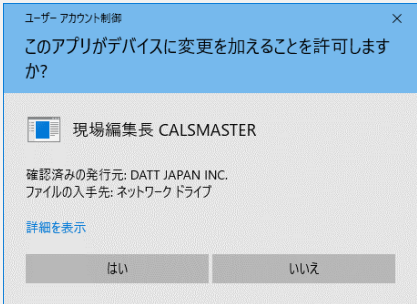
- 必要メモリ、ハードディスクの容量はシステム環境によって異なることがあります。
- 本製品には基本ソフト (OS) は含まれません。
- 本製品にはウイルスチェック機能は含みません。
- 本製品は CD-R への書き込みはサポートしておりません。
- 本製品には SXF 対応 CAD は装備しておりません。
- 本製品ではクラウドストレージ (※1) の同期フォルダ (※2) による運用をサポートしておりません。
データの整合性が保てなくなり、重大なデータ破損を招く恐れがありますので、データ管理フォルダに設定しないでください。

※1 Dropbox, Box, Google ドライブ, OneDrive など

※2 Dropbox アプリ, Box Drive, Google ドライブ ファイル ストリームなど

1-2. ユーザーアカウント制御に関する警告について

本製品のインストール時、以下の操作を行ったときにユーザーアカウント制御による警告メッセージが出力されますので内容をご確認の上、[許可(A)]もしくは[はい(Y)]をクリックし処理を継続してください。

画面イメージ	項目
	Autorun.exe から CALSMATER のインストールボタンをクリックした場合

プログラムのインストールに関してはシステムに CALSMATER の情報を加えることとなりますので、管理者ユーザーが許可して初めてインストールが続行されます。そのための表示がユーザーアカウント制御です。

2. 新規インストールについて

本製品のインストールについて説明します。

本製品のインストールは、管理者権限のあるユーザーで行う必要があります。

2-1. 新規インストール方法

本製品の CD をドライブにセットします。


自動的に以下の画面が表示されます。自動的に表示されない場合は、コンピュータ（または、エクスプローラ）で CD ドライブをダブルクリックしてください。（ダブルクリックをしても開始されない時は、「Autorun.exe」というファイルを直接ダブルクリックします）

画面イメージ	項目
	<ul style="list-style-type: none">① インストールについて② CALSMaster のインストール③ USB 設定ユーティリティの実行④ CD を開く⑤ 終了

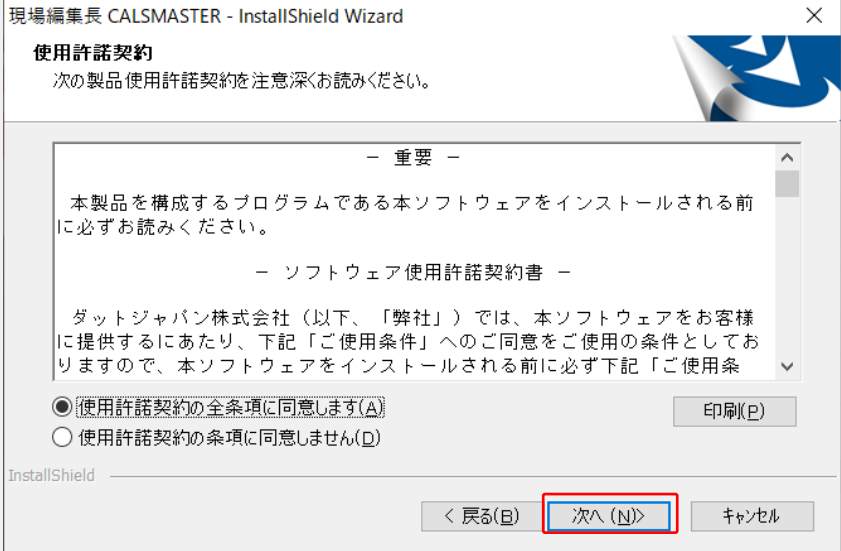
項目	内容
インストールについて	インストール／バージョンアップマニュアル(本マニュアル)を開きます。
CALSMaster のインストール	CALSMaster のインストールを行います。
USB 設定ユーティリティの実行	USB キーの設定を行います。
CD を開く	CALSMaster の CD フォルダを開きます。
終了	処理を終了します。

[CALSMaster のインストール]をクリックすると、ウィザード画面になります。

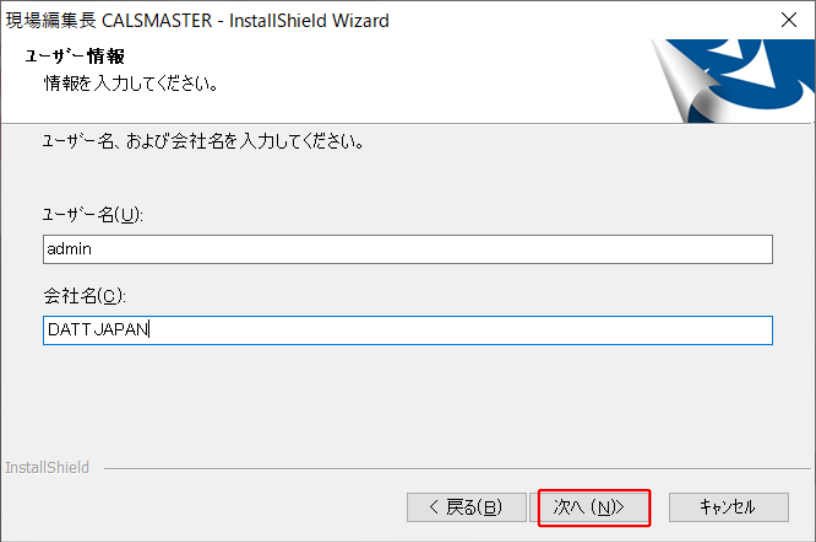
2-2. 現場編集長 CALSMaster の InstallShield Wizard へようこそ

画面イメージ	項目
	<p>インストールを続けるには[次へ(N)]をクリックします。中止するには[キャンセル]をクリックします。</p>


2-3. 使用許諾契約

画面イメージ	項目
	<p>ソフトウェア使用許諾契約書が表示されますのでよくお読みになり、同意される場合は[使用許諾契約の全条項に同意します]にチェックをし[次へ(N)>]をクリックします。同意されない場合は[使用許諾契約の条項に同意しない]にチェックをし[<戻る(B)]をクリックし、インストールを中止してください。</p>

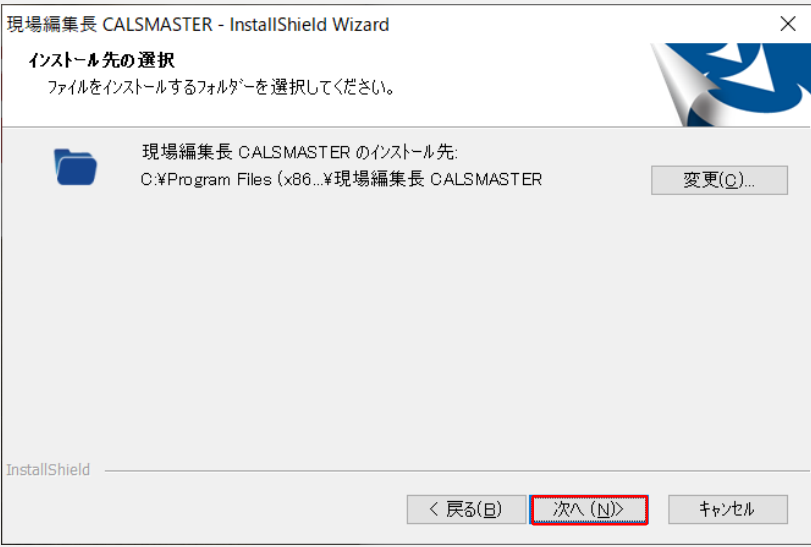
2-4. ユーザー情報画面

画面イメージ	項目
	<p>ユーザー情報の登録画面になりますので、ユーザー名、会社名を入力してください。</p> <p>入力しましたら[次へ(N)>]をクリックします。</p>

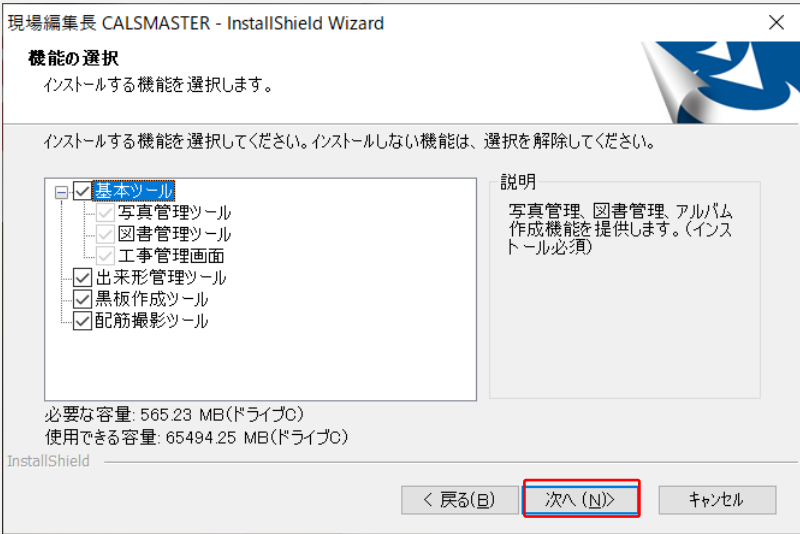
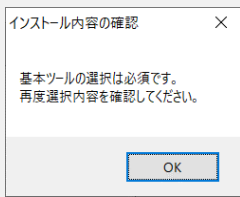
2-5. セットアップタイプの選択

画面イメージ	項目
	<p>通常は「すべて (C)」を選択してください。</p> <p>インストールするプログラムの機能を選択したい場合は「カスタム (S)」を選択してください。</p> <p>設定が終わりましたら[次へ(N)>]をクリックします。</p>

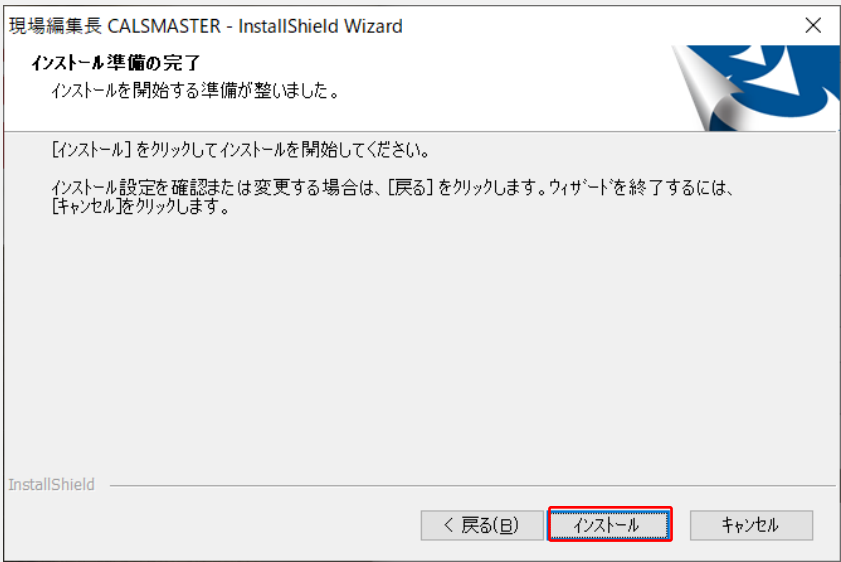
2-6. プログラムフォルダーの選択（カスタムを選択した場合）

画面イメージ	項目
	<p>プログラムフォルダーを選択します。</p> <p>通常はこのままで OK です。任意に設定したい場合は、「変更 (C)」から選択してください。</p> <p>[次へ(N)>]をクリックします。</p>


2-7. 機能の選択（カスタムを選択した場合）

画面イメージ	項目
	<p>インストールする機能を選択します。</p> <p>使用したい機能を選択して、内容が確定したら [次へ(N)>]をクリックします。</p>
	<p>基本ツールの選択は必須です。選択されていない場合は左のメッセージが表示されます。</p>


2-8. ファイルコピーの開始

画面イメージ	項目
 <p>現場編集長 CALSMaster - InstallShield Wizard</p> <p>インストール準備の完了 インストールを開始する準備が整いました。</p> <p>「インストール」をクリックしてインストールを開始してください。 インストール設定を確認または変更する場合は、「戻る」をクリックします。ウィザードを終了するには、「キャンセル」をクリックします。</p> <p>InstallShield</p> <p> <input type="button" value="戻る(B)"/> <input type="button" value="インストール"/> <input type="button" value="キャンセル"/> </p>	<p>インストールの確認画面が表示されます。</p> <p>「インストール」をクリックします。</p>

2-9. インストールの実行

画面イメージ	項目
 <p>現場編集長 CALSMaster - InstallShield Wizard</p> <p>セットアップ ステータス</p> <p>InstallShield Wizard は 現場編集長 CALSMaster をインストールしています</p> <p>インストール中...</p> <p>C:\¥现场編集長 CALSMaster¥PATTERN¥MARU_6.BMP</p> <p>InstallShield</p> <p> <input type="button" value="キャンセル"/> </p>	<p>インストールが実行されます。処理を中止したい場合は[キャンセル]をクリックします。</p>

2-10. インストールの完了

画面イメージ	項目
	<p>インストールが終了しました。</p> <p>[完了]をクリックしますとインストール作業が終わります。</p>

「現場編集長 CALSMaster 2013」以降のバージョンの工事データをそのまま引き継いで使用できます。

「現場編集長 CALSMaster 2012」以前の工事データは読み込むことができませんので、データのコンバートを行ってからご使用ください。(P.14、5.データコンバート 参照)

3. アンインストール方法

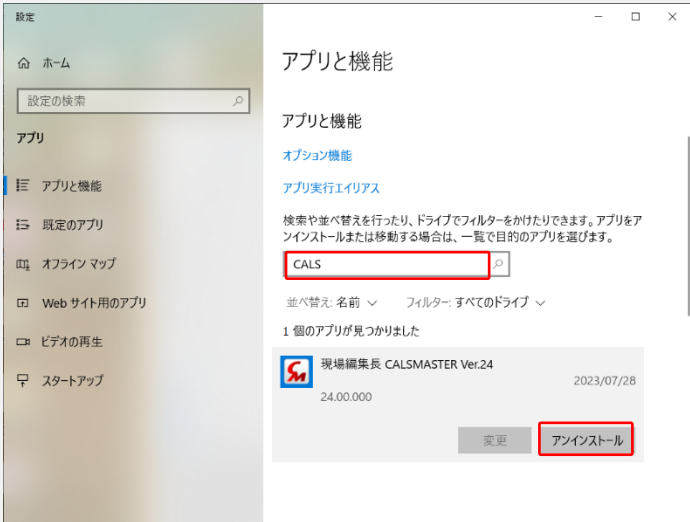
本製品が不要になった場合には、以下の手順でパソコンから削除（アンインストール）してください。

本製品のアンインストールを行うには、お使いのパソコンに管理者（Administrators）権限でログインしている必要があります。

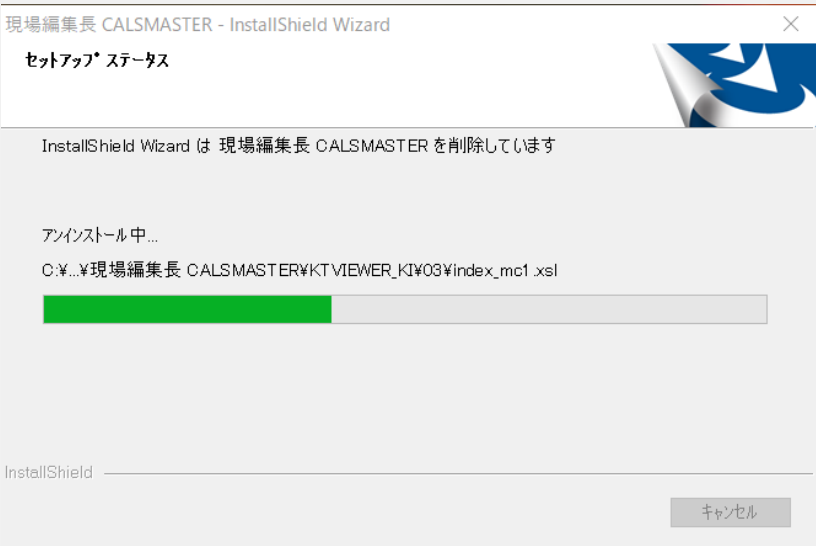
3-1. コントロールパネル

画面イメージ	項目
	<ul style="list-style-type: none">① アプリケーションをすべて終了します。② [スタート]ボタンを右クリックし、[アプリと機能]をクリックします。

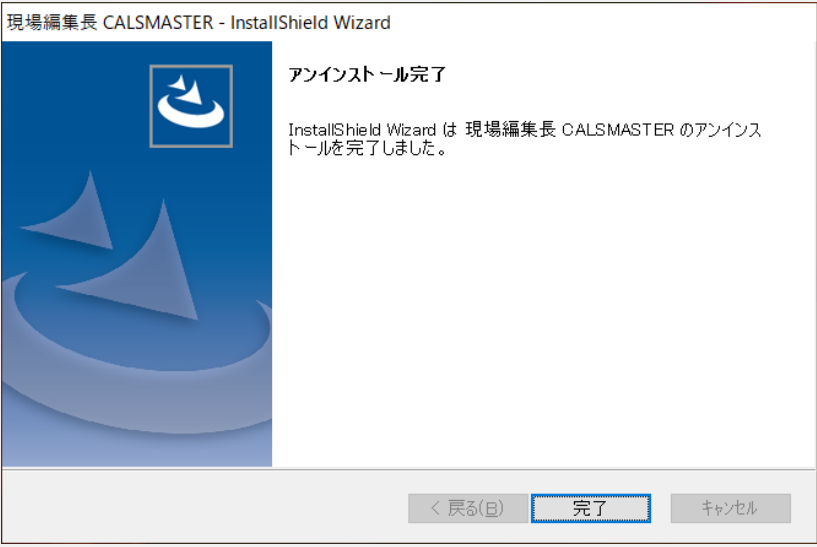
3-2. アプリと機能

画面イメージ	項目
	<ul style="list-style-type: none">③ 「このリストを検索」という部分に「CALS」と入力し、[アンインストール]をクリックします。④ 「このアプリとその関連情報がアンインストールされます。」というメッセージで「アンインストール」をクリックします。⑤ 「ファイル削除の確認」で[OK]をクリックしてください。

3-3. セットアップステータス

画面イメージ	項目
	⑥ 現場編集長 CALSMaster のアンインストールを開始します。

3-4. アンインストール完了

画面イメージ	項目
	⑦ アンインストール後に完了確認ダイアログが表示されます。[完了]をクリックしてください。

以上でアンインストールは完了です。

なお、本製品のアンインストールを行っても、本製品で作成されたデータは削除されません。

4. USB キーのバージョンアップ方法

本製品の CD をドライブにセットします。

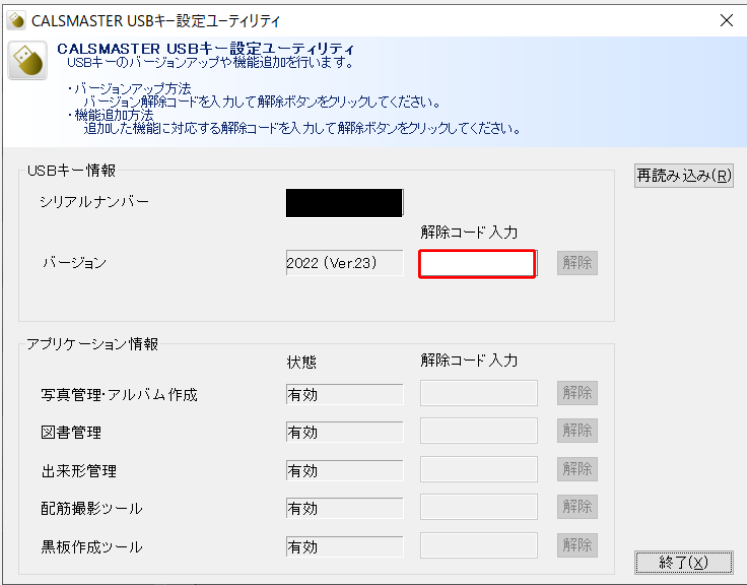

自動的に以下の画面が表示されます。自動的に表示されない場合は、コンピュータ（または、エクスプローラ）で CD ドライブをダブルクリックしてください。（ダブルクリックをしても開始されない時は、「Autorun.exe」というファイルを直接ダブルクリックします）

画面イメージ	項目
	<ul style="list-style-type: none">① インストールについて② CALSMaster のインストール③ USB 設定ユーティリティの実行④ CD を開く⑤ 終了

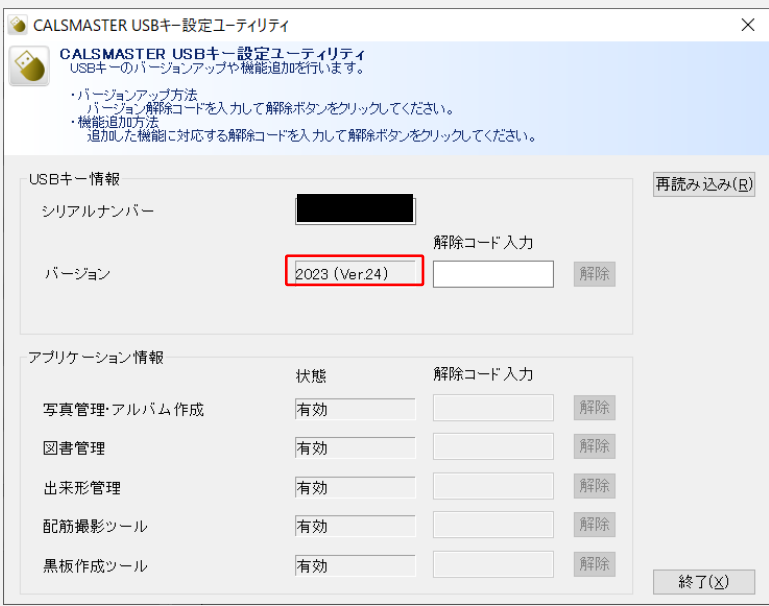
項目	内容
インストールについて	インストール／バージョンアップマニュアル(本マニュアル)を開きます。
CALSMaster のインストール	CALSMaster のインストールを行います。
USB 設定ユーティリティの実行	USB キーの設定を行います。
CD を開く	CALSMaster の CD フォルダを開きます。
終了	処理を終了します。

4-1. CALSMaster USB キー設定ユーティリティ

「USB キー」ライセンスシートのバージョン解除コードを確認してください。


画面イメージ	項目
	<ol style="list-style-type: none"> ① バージョン解除コードを解除コード入力欄に入力します。 ② 入力後、[解除] ボタンをクリックしてください。 ③ USB キーのバージョンアップが終了すると次のメッセージが表示されます。 

4-2. バージョンアップ確認

画面イメージ	項目
	<ol style="list-style-type: none"> ④ バージョンが 2022(Ver.23)から 2023(Ver.24)へ変更されます。確認後[終了 (X)] をクリックしてください。

4-3. USB キーの確認

CALSMASTER を起動し、工事管理画面を開きます。

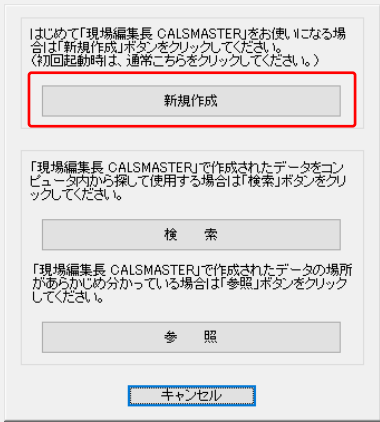
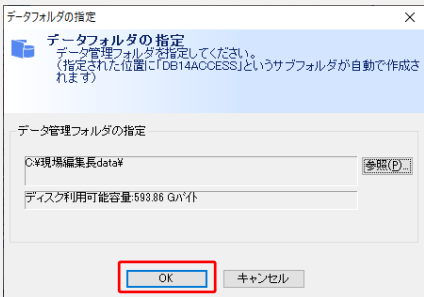
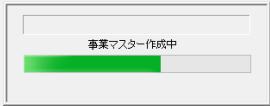
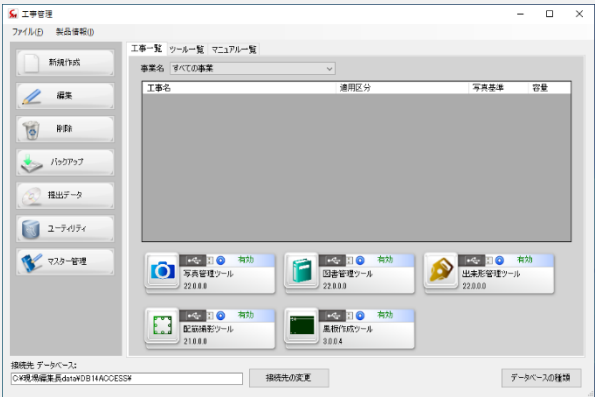
画面イメージ	項目
	① 製品情報 (I) →システム情報 (A) を選択します。

5. データコンバート

本製品は、「現場編集長 CALSMaster 2009、2010、2011、2012」のデータをコンバートし、使用することが出来ます。「現場編集長 CALSMaster 2013」以降のデータはコンバート不要です。

5-1. 初回起動時のコンバート準備

「現場編集長 CALSMaster 2013」以降のデータがパソコンに存在しない場合は初回起動時にデータベースの「新規作成」が必要です。この手順が無い場合は「5-2.コンバートツールの起動」記載のツール一覧画面を表示できないので必ず以下の準備操作を行ってください。

画面イメージ	項目
	<p>① 初回起動時はデータベースが無いため左図の画面が表示されます。「新規作成」をクリックし次に進みます。</p>
	<p>② データフォルダの指定ウィンドウが表示されますので指定フォルダを変更せず、このまま「OK」ボタンを押します。</p>
	<p>③ 作成処理が行われますのでこのままお待ちください。</p>
	<p>④ 正常完了すると工事管理画面が表示されます。これでデータベースの新規作成は完了です。</p>

5-2. コンバートツールの起動

画面イメージ	項目
	<p>① 工事管理画面のツール一覧タブよりコンバートツールを起動します。</p> <p>② コンバートツールを起動すると次のメッセージが表示されます。</p>

5-3. コンバートの設定項目について

画面イメージ	項目
	<p>① 変換元（旧データベース）</p> <p>② 変換先</p> <p>③ 全て選択</p> <p>④ 全て解除</p> <p>⑤ 工事一覧</p> <p>⑥ 変換</p> <p>⑦ 終了</p>

項目	内容
変換元（旧データベース）	旧データベース（DB10ACCESS）を指定します。
変換先	データベースの保存先を指定します。
全て選択	一覧の工事を全て選択します。
全て解除	全ての選択を解除します。
工事一覧	選択された旧データベース（DB10ACCESS）の工事データが表示されます。
変換	選択された工事に変換されます。
終了	コンバートツールを終了します。

5-4. コンバート画面

画面イメージ	項目
	<p>① 変換の進捗状況が画面に表示されますので、終了するまでお待ちください。</p> <p>変換に要する時間は写真ファイル枚数によって変わります。</p> <p>終了しますと完了のメッセージダイアログが表示されます。</p>




この操作により旧データベース（DB10ACCESS）は新データベース（DB14ACCESS）に変換されます。また、この操作で元のデータベースが削除される事はありません。

- ※コンバート中は工事データの編集作業を一切行わないように注意してください。
 - ※コンバート終了後は DB10ACCESS を別のハードディスクに保管することをお勧め致します。
 - ※複数の DB10ACCESS をコンバートしますと、現在使用中の DB14ACCESS はリネームされ保存されます。
- データベースを変更するには、工事管理画面の「接続先の変更」から行ってください。



コンバートツールは1回のコンバートで1つの独立したデータ管理フォルダを作成します。

既存工事データがある状態でコンバートを行った場合も別のデータベースとして扱われるので、**既存の工事にコンバートされた工事は結合されません。**

コンバート前	コンバート後
 DB14ACCESS 既存の工事データベース	 DB14ACCESS コンバートされた新しいデータベース  DB14ACCESS_1594775329 コンバート時にリネームされる

参照先が新しいデータベースに差し変わるので既存工事は参照されなくなります。既存工事を参照する場合はリネームされたデータ管理フォルダに接続先を変更する必要があります。

なお、既存工事に結合したい場合はコンバート後に「工事バックアップデータ」を作成し、既存工事を含むデータ管理フォルダに切り替えてから、作成されたバックアップデータを回復してください。

現場編集長 CALSMaster
インストールマニュアル